



みほ

深みを湛えながら、静かに流れ続ける川

BORN DECODED

YOUR BIRTH WAS CODED. WE DECODE IT.

パーソナル四柱推命鑑定

みほ

1987年3月15日

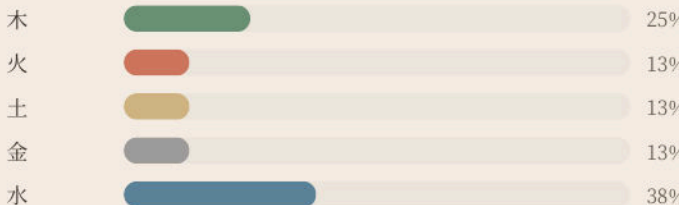
四柱推命（しちゅうすいめい）は、あなたが生まれた瞬間のエネルギーを映し出します——木・火・土・金・水の五行が織りなす、あなただけの設計図です。

みほさんの日主(にっしゅ)は壬水(じんすい)——大きな川や海を象徴する、陽の水の気です。壬水は「受け取り、蓄え、方向を変えながら流れ続ける」性質を持ちます。止まることなく前へ向かいながら、その深さの中に多くのものを静かに抱えている——それがあなたという人の根本です。四柱推命でいうと、あなたは壬水(じんすい)——流れを知る川、深くて静かで、止まらない。

あなたの命式

年柱	月柱	日柱	時柱
丁	癸	壬	庚
天干 陰火	天干 陰水	天干 陽水	天干 陽金
卯	卯	戌	子
地支 陰木	地支 陰木	地支 陽土	地支 陽水

五行バランス



あなたの日主

陽水

中和

冠帯（かんたい）

自信が芽生え、自らの力に踏み出す時期

2027年も秋(10～12月)がエネルギーの高まる季節です。特に11～12月は水の気が命式に味方し、本来の判断力が冴えやすい時期——大切な選択はこの季節に持ち込むのが良いでしょう。

あなたの質問への答え

Q: 夫が会社を辞めて、独立したいと言っています。妻として、どう支えるのがいいのでしょうか？

みほさんの命式には天乙貴人(てんいつきじん)があり、危機の局面で人を支える力が自然に出てくる構造です。ただし日柱の戌に七殺(しちさつ)が潜み、パートナーとの間で「支える」と「飲み込まれる」の境界が曖昧になりやすい。最も大切なのは、川が岸を失わずに流れ続けることです——夫の夢を応援しながら、みほさん自身の流れを止めないこと。財庫貴人(ざいこきじん)の安定力を活かし、家庭の水位を保つ役割はあなたが担えます。ただし「全部引き受ける」は禁物で、秋(10～11月)に一度、二人でお金と役割の話を落ち着いて整理する場を設けるのが命式的に安定した支え方です。

Q: 私の隠れた強みと、それがいちばん活きる時期を知りたいです。

みほさんの最も隠れた強みは「流れを読んで、最適な方向を選ぶ判断力」です。壬水の日主に魁罡殺(かいこうさつ)が重なり、通常時は穏やかに見えながら、局面が動いた瞬間に的確な決断ができる。これは追い詰められた時ほど本領が出るタイプの強さです。最も活きるのは金の気が高まる秋——特に8～10月、そして47歳以降の戊申・己酉大運(2034年～)では、金の印星

が命式を安定させ、この判断力が一段と冴える時期が来ます。今はその力を育てる時期と思って、秋ごとに「これでいいか」を自分に問い直す習慣が、その強みを磨きます。

Q: 家族との暮らしを大切にしながら、私自身のやりたいことを見つけるには？

みほさんの命式では、傷官(しょうかん)の気が強く、表現・創造への衝動は本物です。この気を「家族のため」だけに使い続けると、川が行き場を失うように内側に溜まっていきます。「やりたいこと」は遠くにあるのではなく、すでに感じているけれど「今じゃない」と後回しにしているものの中にあることが多い。華蓋殺(かがいさつ)の孤独な集中力を活かし、週に一度でも「自分だけの時間」を北向きの静かな場所に確保することから始めてください。11～12月の水の気が高まる季節は、自分の内側の声が聞こえやすい時期——この季節に「本当は何がしたいか」を書き出す習慣が、みほさんの川に新しい流れを作ります。

全体の構成 — 全11章・約20ページ

- 1 あなたの命式 ★このサンプルに収録
- 2 深みを湛えながら、静かに流れ続ける川
- 3 川面は穏やか、川底は削り続けている
- 4 川が持つ力——削り続けること、方向を変えること
- 5 あなたに味方する気と、あなたを重くする気
- 6 川の流れが活きる場所——仕事とお金の地図
- 7 川が誰かのそばを流れる時——みほさんの恋愛
- 8 川が育む場所——家族と友人との地図
- 9 人生の大きな流れ（大運）
- 10 あなたの質問への答え ★このサンプルに収録
- 11 あなたのサバイバルガイド

※ページ数は命式によって前後します

この先は、あなたの生年月日から始まります。